



ま とく れい こう 磨徳励行

自ら考え
進んで行動し
学び続ける
『キラリと光る励徳っ子』



植えたヒガンバナではないけれど・・・
第 20 号
R5.9.22発行
文責 永田 功臣

今週もたくさんの人をお招きして

先週は町教育委員会の学校訪問がありました。今週は、19日(火)にたくさんの方々をお招きして、「とくとく算数」「茶道教室」「学校運営協議会」を同日に行いました。今回も子どもたちは「励徳プライド」を発揮できたでしょうか。それぞれに振り返ってほしいと思います。



「とくとく算数」では、今回より、石坂涼子さん(洞岳)が丸付けボランティアで新しく参加してくださいました。自発的に学校支援に参加いただき、本当にありがとうございます。

「茶道教室」は、今年も東家彌生先生にご指導いただきました。茶道の作法や知識のご指導もさることながら、互いによりよく生きるための心得も含めて3・4年生に話していただき、茶道の奥深さを感じました。



当日、私は午後から出張でいませんでしたが、茶道教室の後、職員や学校運営協議会の方々にもお茶のおもてなしをいただきました。併せて感謝いたします。



「学校運営協議会」は今年度3回目となりました。学校の状況を説明し、評価していただくとともに、今後の行事等について、学校を盛り上げるために何ができるか協議していただきました。NPO法人富神ネットが励徳小学校区のまちづくりの推進に向けて立ち上がったので、活用してほしいとの意見をいただき、大変ありがたく思っております。今後、子どもたちと一緒にまちづくりについて考えていきたいと思ひます。



☆はうかう☆

～キラリと光るために～

16日(土)に保育園・幼稚園の運動会を参観してきました。本人たちは何も意識していないと思いますが、一生懸命走ったり、踊ったりする姿に元気をもらいました。子どもたちが元気を出すことで地域みんなが元気になります。地域を明るくする「キラリと光る」励徳小学校をみんなで少しずつ元気を出して作り上げていきましょう。

「礼トークをがんばる」
三年 田村 心路
「キラリと光る」ために
地域の人や先生に
元気よくあいさつをして
元気を分けて
あげられるような人になりたい



もっとサイエンス



21日(木)から30日(土)まで秋の全国交通安全運動が実施されています。朝から学校下を通る車も多いので、事故には十分気をつけましょう。「飛び出す車は急に止まれない」という昔のキャッチフレーズを思い出しました。なぜ、急に止まれないかわかりますか。これは、物は動いていれば動き続けようとし、止まっていれば止まってい続けようとする性質があるからです。物が重ければ重いほどその性質は強くなります。この性質を「慣性」といいます。もし、車が急ブレーキをかけたとすると、人はどうなりますか。シートベルトをしていなければ、人は動き続けようとして前に飛び出しそうになります。

このように、日常でも「慣性」を感じる場面や「慣性」を利用してるものがあります。例えば、「だるま落とし」も「慣性」を利用していますが、なぜかわかりますか。ちょっと考えてみましょう。



感謝

教育活動についての保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果につきましては、後日今後の対応も含めましてお知らせいたします。